

営繕工事の電子納品要領

令和5年4月

岐阜県

営繕工事電子納品要領

目次

1 適用	- 1 -
2 用語の定義	- 1 -
3 フォルダ構成	- 2 -
4 管理項目	- 13 -
4-1 工事管理項目	- 13 -
4-2 図面管理項目	- 18 -
4-3 工事関係資料管理項目	- 21 -
5 ファイル形式	- 23 -
6 ファイルの作成	- 24 -
6-1 図面ファイルの作成	- 24 -
6-2 工事関係資料ファイルの作成	- 24 -
6-3 工事関係資料ファイルの編集	- 24 -
7 ファイルの命名規則	- 25 -
8 電子成果品	- 27 -
8-1 電子成果品	- 27 -
8-2 電子媒体の標記規則	- 28 -
8-3 電子媒体が複数枚に渡る場合の処置	- 29 -
9 その他留意事項	- 30 -
9-1 ウイルス対策	- 30 -
9-2 使用文字	- 31 -
9-3 工事写真の取扱い	- 32 -
付属資料1 管理ファイルの DTD	付 1-1
1 工事管理ファイルの DTD	付 1-1
2 図面管理ファイルの DTD	付 1-5
3 工事関係資料管理ファイルの DTD	付 1-7
付属資料2 管理ファイルの XML 記入例	付 2-1
1 工事管理ファイルの XML 記入例	付 2-1
2 図面管理ファイルの XML 記入例	付 2-3
3 工事関係資料管理ファイルの XML 記入例	付 2-4
付属資料3 XML 文書作成における留意点	付 3-1

1 適用

本要領は、表 1-1 に示される標準仕様書を適用する工事において、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に規定される工事関係図書及び完成図等（以下「工事関係資料」という。）を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

表 1-1 標準仕様書

No.	名称
1	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
2	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
3	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
4	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
5	公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
6	公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
7	公共建築木造工事標準仕様書

2 用語の定義

本要領に使用する用語の定義は、次に定めるところとする。

- **電子納品**とは、本要領に基づき電子成果品を納品することをいう。
- **電子成果品**とは、本要領に基づき電子的手段によって発注者に納品する成果品となる電子データをいう。

3 フォルダ構成

電子成果品は、次に示すフォルダ構成とする。

電子媒体のルート直下に、「DRAWINGF」、「MAINT」、「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「OTHRs」、「ICON」、「BORING」のフォルダ、工事管理ファイル及び工事管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルを置く。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ICON」、「BORING」フォルダを除く各フォルダの下に、「ORG」フォルダを置く。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

各フォルダに格納するファイルは、次のとおりとする。

- ・ 「DRAWINGF」フォルダには、工事完成図の図面ファイル、レイヤリストファイル及び図面管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、図面オリジナルファイル及びレイヤリストオリジナルファイルを格納する。
- ・ 「MAINT」フォルダには、保全に関する資料ファイル及び保全に関する資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、保全に関する資料オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「PLAN」フォルダには、施工計画書ファイル及び施工計画書管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、施工計画書オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「SCHEDULE」フォルダには、工程表ファイル及び工程表管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、工程表オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「MEET」フォルダには、打合せ簿ファイル及び打合せ簿管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、打合せ簿オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「MATERIAL」フォルダには、機材関係資料ファイル及び機材関係資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、機材関係資料オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「PROCESS」フォルダには、施工関係資料ファイル及び施工関係資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、施工関係資料オリジナルファイルを格納する。

- ・ 「INSPECT」フォルダには、検査関係資料ファイル及び検査関係資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、検査関係資料オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「SALVAGE」フォルダには、発生材関係資料ファイル及び発生材関係資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、発生材関係資料オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「OTHRs」フォルダには、その他資料ファイル及びその他資料管理ファイルを格納する。DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「ORG」フォルダには、その他資料オリジナルファイルを格納する。
- ・ 「ICON」フォルダには、i-Construction に係る電子データファイルに関連する要領等に従い格納する。
- ・ 「BORING」フォルダには、地質・土質調査の電子データファイルに関連する要領等に従い格納する。

フォルダ作成上の留意事項は、次のとおりとする。

- ・ フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ・ 各フォルダに直接対象ファイルを格納し、階層分けは行わない（「ICON」「BORING」フォルダを除く。）。

【解説】

(1) 電子媒体のルート直下に置く工事管理ファイル

電子媒体のルート直下に置く「工事管理ファイル」は、「工事管理項目」（工事の属性を表すデータ。）を XML 文書（XML1.0 に準拠。）で記述したファイルとし、ファイル名称は「7 ファイルの命名規則」に従うものとする。本 XML 文書で用いる DTD を付属資料 1 に示す。なお、DTD 及び XSL もルート直下に格納するものとする。

「工事管理項目」の詳細は、「4-1 工事管理項目」に示すとおりである。

(2) 「DRAWINGF」フォルダ

「DRAWINGF」フォルダには、図面ファイル、レイヤリストファイル及び図面管理ファイルを格納する。

1) 図面ファイル

「DRAWINGF」フォルダに格納する「図面ファイル」は、図で構成される電子データファイルとする。

2) レイヤリストファイル

「DRAWINGF」フォルダに格納する「レイヤリストファイル」は、表で構成される電子データファイルとする。

3) 図面管理ファイル

「DRAWINGF」フォルダに格納する「図面管理ファイル」は、「図面管理項目」（図面の属性を表すデータ。）をXML文書（XML1.0に準拠。）で記述したファイルとし、ファイル名称は「7 ファイルの命名規則」に従うものとする。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、DTD及びXSLもこのフォルダに格納するものとする。

「図面管理項目」の詳細は、「4-2 図面管理項目」に示すとおりである。

(3) 「DRAWINGF」フォルダの「ORG」フォルダ

1) 図面オリジナルファイル

「DRAWINGF」フォルダの「ORG」フォルダに格納する「図面オリジナルファイル」は、「図面ファイル」を作成したソフトウェア固有の形式で保存したものとする

2) レイヤリストオリジナルファイル

「DRAWINGF」フォルダの「ORG」フォルダに格納する「レイヤリストオリジナルファイル」は、「レイヤリストファイル」を作成したソフトウェア固有の形式で保存したものとする。

(4) 「MAINT」、「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「OTHR」フォルダ

1) 工事関係資料ファイル

各フォルダに格納する「工事関係資料ファイル（保全に関する資料ファイル、施工計画書ファイル、工程表ファイル、打合せ簿ファイル、機材関係資料ファイル、施工関係資料ファイル、検査関係資料ファイル、発生材関係資料ファイル、その他資料ファイル）」は、工事関係資料（保全に関する資料及び工事関係図書（施工計画書、工程表、打合せ簿、機材関係資料、施工関係資料、検査関係資料、発生材関係資料、その他資料））（以下「工事関係資料」という。）の文章、表、図で構成される電子データファイルとするとする。

2) 工事関係資料管理ファイル

各フォルダに格納する「工事関係資料管理ファイル（保全に関する資料管理ファイル、施工計画書管理ファイル、工程表管理ファイル、打合せ簿管理ファイル、機材関係資料管理ファイル、施工関係資料管理ファイル、検査関係資料管理ファイル、発生材関係資料管理ファイル、その他資料管理ファイル）」は、各フォルダに格納する工事関係資料の「工事関係資料管理項目」（工事関係資料の属性を表すデータ。）をXML文書（XML1.0に準拠。）で記述したファイルとし、ファイル名称は「7 ファイルの命名規則」に従うものとする。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、DTD及びXSLもこのフォルダに格納するものとする。

「工事関係資料管理項目」の詳細は、「4-3 工事関係資料管理項目」に示すとおりである。

(5) 「MAINT」、「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「OTHR」フォルダの「ORG」フォルダ

1) 工事関係資料オリジナルファイル

各工事関係資料フォルダの「ORG」フォルダに格納する「工事関係資料オリジナルファイル」は、「工事関係資料のファイル」を作成したソフトウェア固有の形式で保存したものである。

(6) 「ICON」フォルダ

1) 「ICON」フォルダに格納する電子データファイル

発注者は i-Construction に関連する要領等を、設計図書で規定する。「ICON」フォルダに格納する電子データファイルは、設計図書で規定された i-Construction に関連する要領等に従うものとする。

2) 資料管理ファイル

「ICON」フォルダには資料管理ファイルは格納しない。DTD も格納しない。

(7) 「BORING」フォルダ

1) 「BORING」フォルダに格納する電子データファイル

地質・土質調査の電子データファイルの形式、格納するサブフォルダの構成は、「地質・土質調査成果電子納品要領」（平成 28 年 10 月 国土交通省）に従うものとする。

(8) 要領に記載されていないフォルダの取扱い

本要領に記載されていないフォルダは、作成しない。

デジタルカメラで撮影した工事写真を提出する場合は、本要領で規定する電子納品とは別の電子媒体に格納し、独立して電子媒体を整理する。

(9) 工事関係資料各フォルダに格納する工事関係資料の一覧を表 3-1 に示す。本表に記載された工事関係資料が全て電子納品の対象となるという意味ではないことに留意されたい。また、必須となる電子納品対象の資料は、別途、公共建築課で定める「営繕工事等における電子納品項目」の規定による。

※ルート

ルートとは階層型ファイル構造における最上階層のディレクトリやフォルダのことをいう。

※XML eXtensible Markup Language（拡張型構造化記述言語）

ユーザが任意でデータ（タグ）の要素・属性や論理構造を定義できる記述言語（メタ言語）であり、1998 年 2 月に W3C（WWW コンソーシアム）において策定された。

※DTD Document Type Definitions（文書型定義）

XML 文書では、ユーザが任意でデータ（タグ）の要素・属性や文書構造を定義したものを DTD（文書型定義）という。文書に含まれるデータの要素名や属性や構造を表現する。

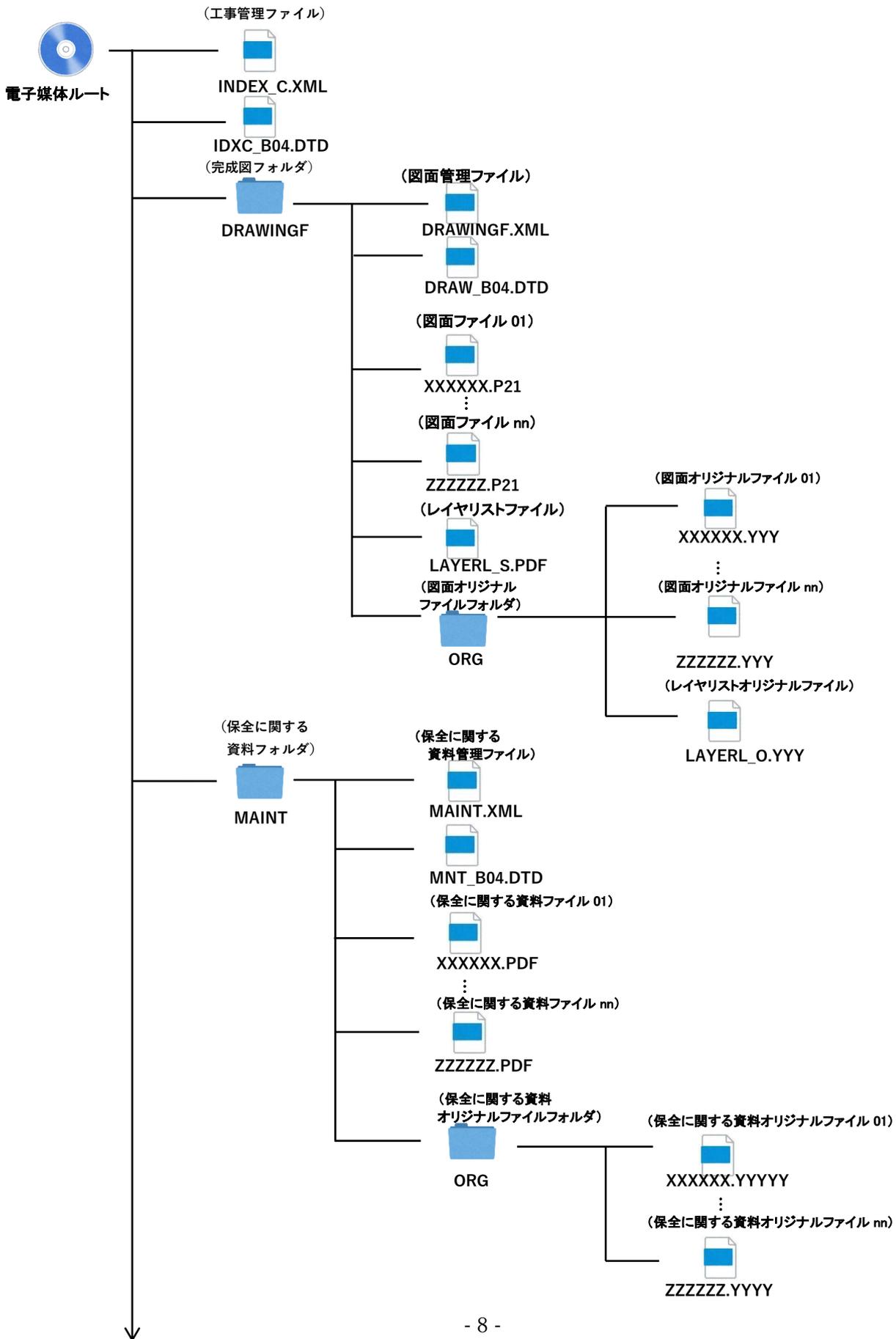
※XSL eXtensible Style Language

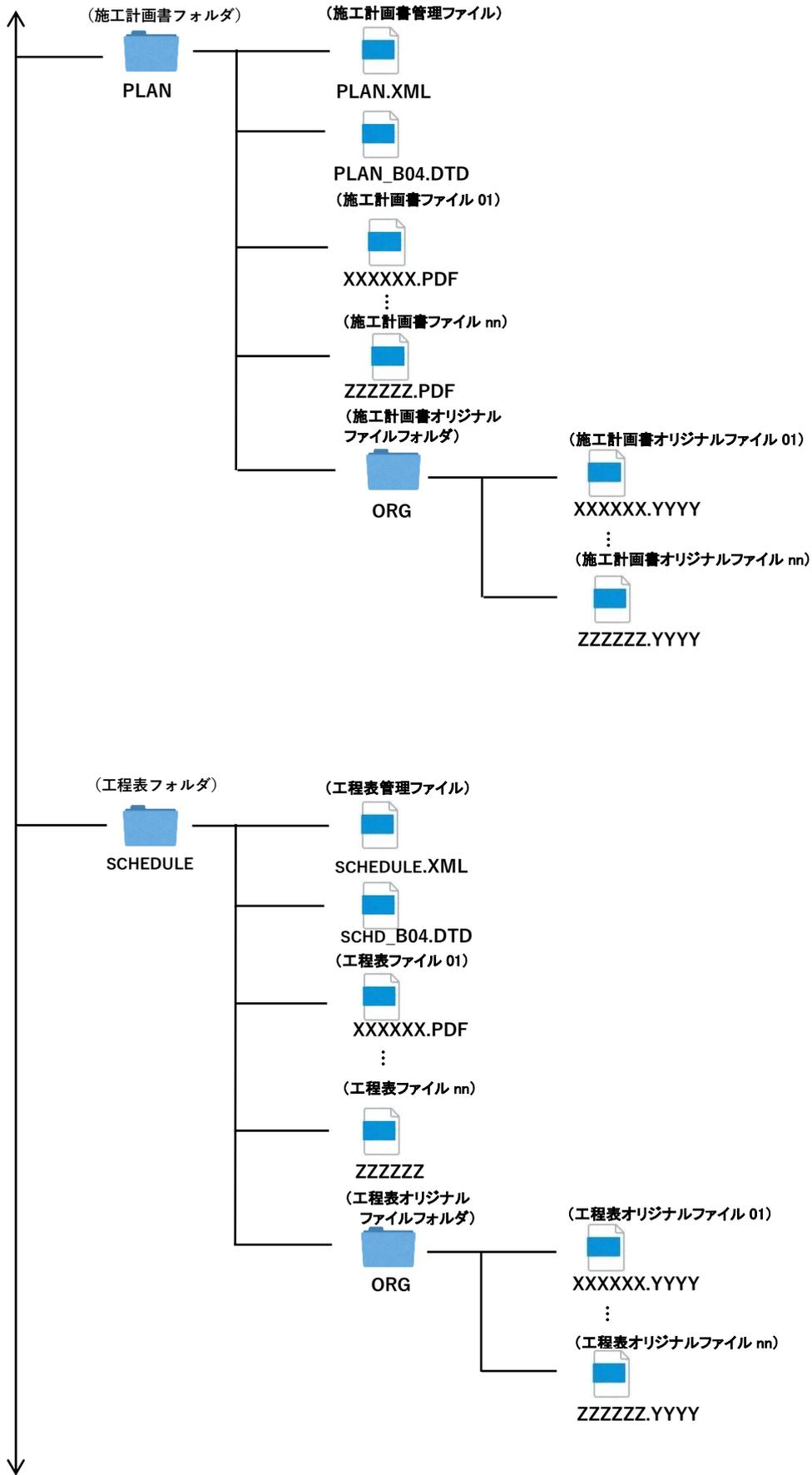
XML 文書の書式(体裁)を指定するスタイルシートを提供する仕様であり、「標準仕様書 TS X0088:2006 拡張可能なスタイルシート(XSL)1.1」、「JIS X 4169:2007 XSL 交換(XSLT)1.0」の規格がある。

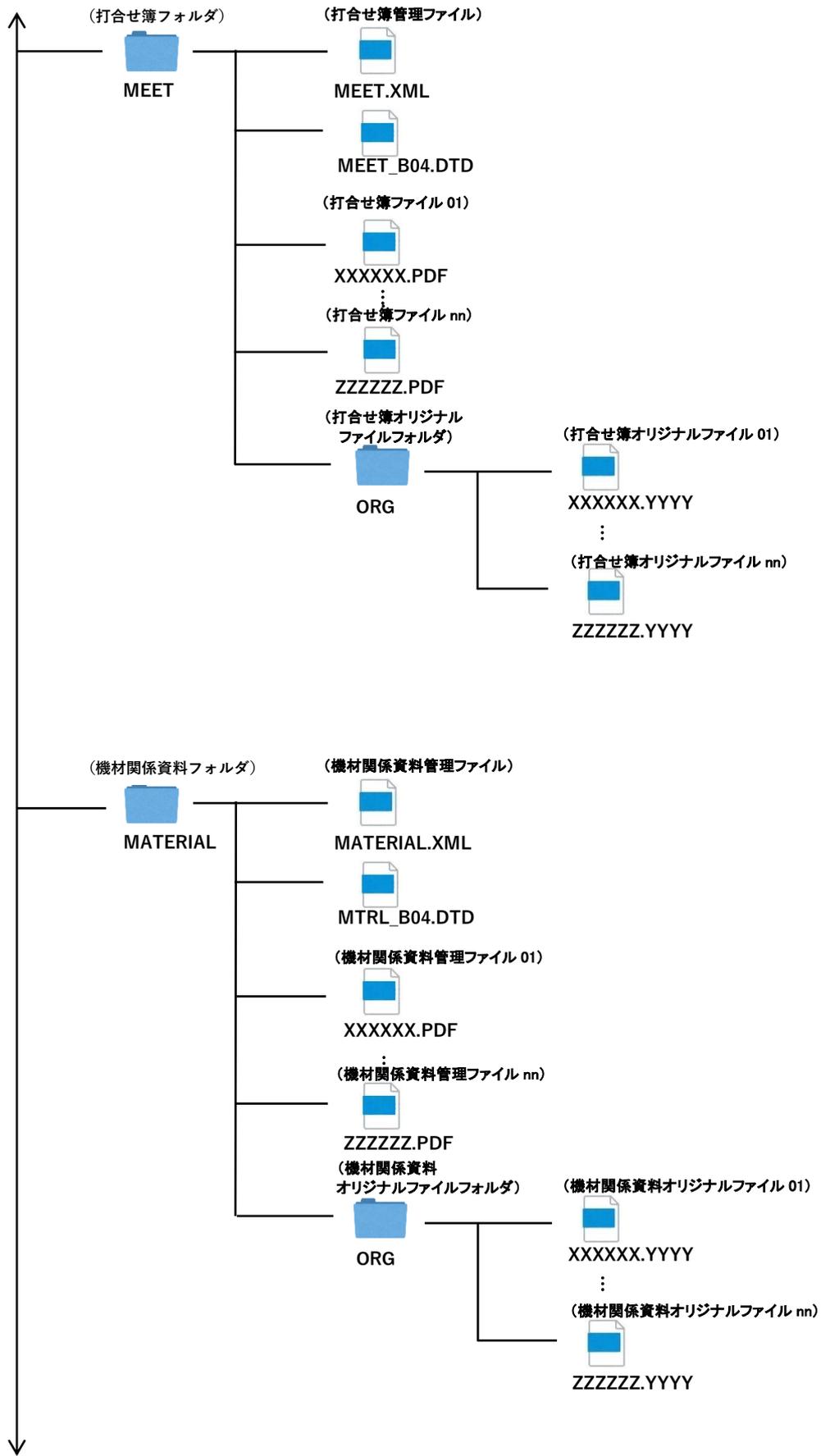
表 3-1 各フォルダに格納する工事関係資料一覧

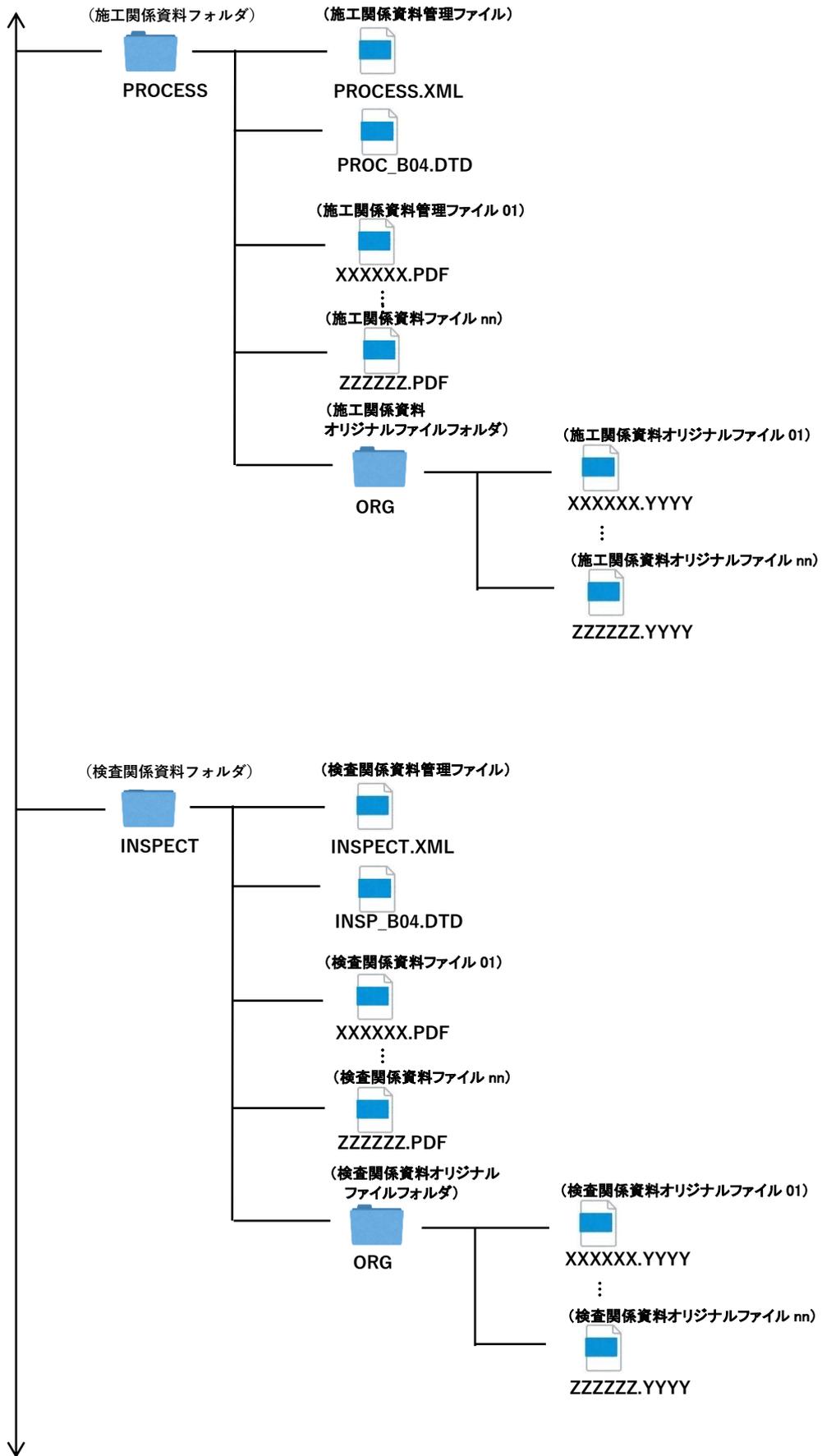
フォルダ名	資料大分類	資料小分類
DRAWINGF	完成図	<u>完成図</u>
MAINT	保全に関する資料	<u>主要材料機器一覧表</u> 、保全に関する説明書、 <u>官公署届出書類一覧表</u> 、保全の手引き、機器取扱説明書、機器性能試験成績書、官公署届出書類、予備品等引渡し通知書、 <u>鍵・備品・工具リスト</u>
PLAN	施工計画書	総合施工計画書、工種別施工計画書
SCHEDULE	工程表	実施工程表、週間工程表、月間工程表、工種別工程表
MEET	打合せ簿	工事打合せ記録
MATERIAL	機材関係資料	試験計画書（機材検査に伴うもの）、試験成績書（機材検査に伴うもの）、監督職員検査記録（機材検査に伴うもの）、品質証明書、調合表、規格証明書、機材搬入報告書
PROCESS	施工関係資料	施工報告書、試験成績書（現場検査に伴うもの）、監督職員検査記録（現場検査に伴うもの）、履行報告書、施工体制台帳、有資格者名簿、施工体系図
INSPECT	検査関係資料	社内最終検査記録、工事完成記録、完成通知書、指定部分完成通知書、既済部分確認請求書、技術検査記録
SALVAGE	発生材関係資料	発生材調書、処理報告書
OTHR	契約関係書類	工事請負契約書の写し、契約時の工程表、現場代理人等通知書、疑義等の協議記録
	施工図	施工図
	完成写真	完成写真
	工事实績情報	工事实績情報登録内容、工事实績情報受領書の写し
	工事の一時中止	状況調査及び理由書
	工期変更	変更工程表、変更理由書、工期算出根拠
	文化財その他埋蔵物	状況調査報告書
	その他の資料	
ICON	i-Construction 関係書類	
BORING	地質関係書類	

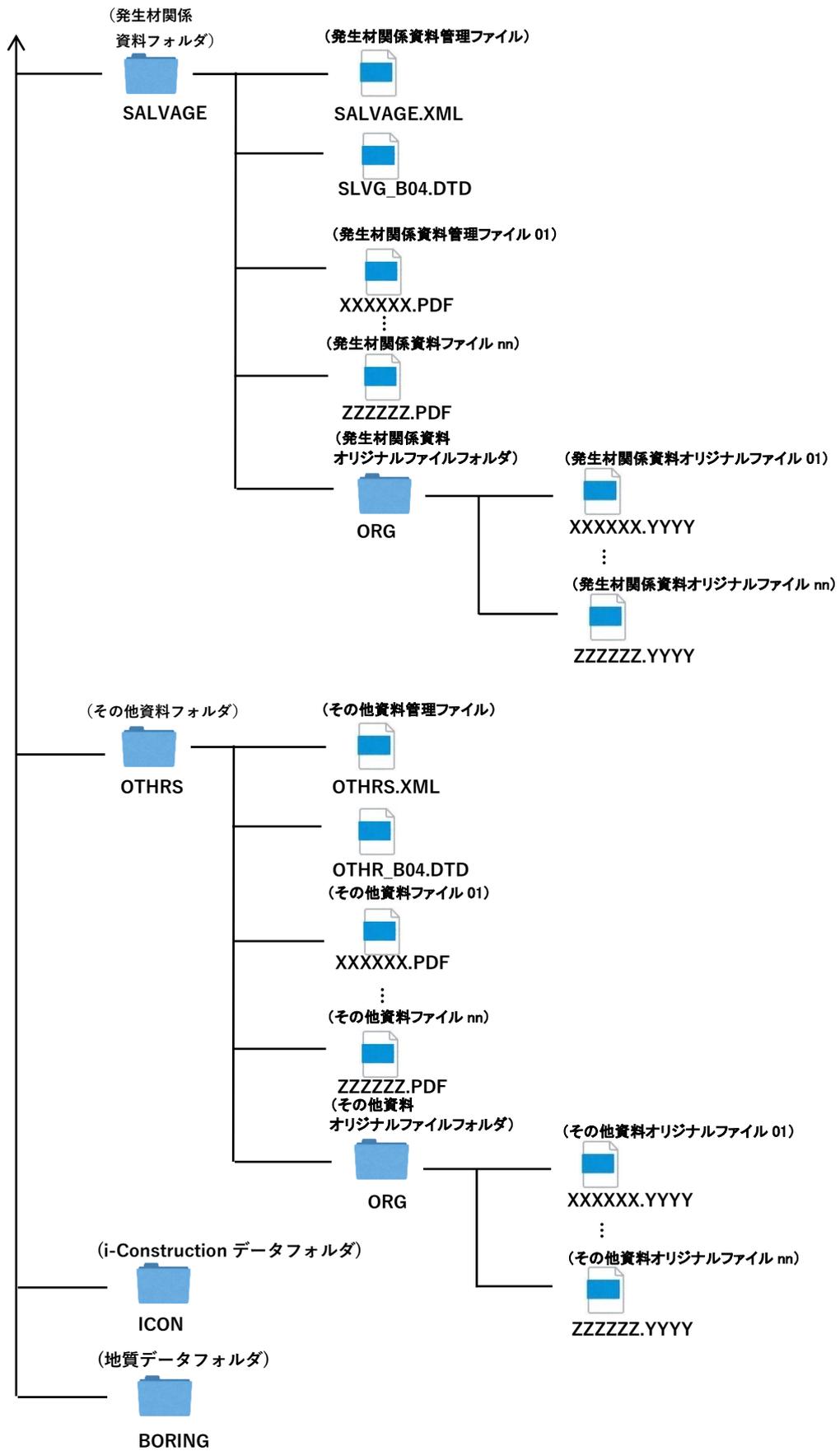
※斜体下線付きで表記された資料は、電子納品を行う場合はオリジナルファイルも併せて納品すべき資料を意味する。











4 管理項目

4-1 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル (INDEX_C.XML) に記入する工事管理項目は、表 4-1 に示すとおりである。

表 4-1 工事管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。	半角数字	8	<input type="checkbox"/>	◎
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	同上	8	<input type="checkbox"/>	◎
	メディア種別	電子媒体の種別を記入する。	半角英数大文字	127	<input type="checkbox"/>	◎
	メディアフォーマット	電子媒体の論理フォーマットを記入する。	同上	127	<input type="checkbox"/>	◎
	完成図フォルダ名	完成図を格納するフォルダ名称 (DRAWINGF で固定) を記入する。	同上	8 固定	▲	○
	完成図オリジナルファイルフォルダ名	完成図のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (DRAWINGF/ORG で固定) を記入する。	同上	12 固定	▲	○
	保全に関する資料フォルダ名	保全に関する資料を格納するフォルダ名称 (MAINT で固定) を記入する。	同上	5 固定	▲	○
	保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名	保全に関する資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (MAINT/ORG で固定) を記入する。	同上	9 固定	▲	○
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するフォルダ名称 (PLAN で固定) を記入する。	同上	4 固定	▲	○
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (PLAN/ORG で固定) を記入する。	同上	8 固定	▲	○
	工程表フォルダ名	工程表を格納するフォルダ名称 (SCHEDULE で固定) を記入する。	同上	8 固定	▲	○
	工程表オリジナルファイルフォルダ名	工程表のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (SCHEDULE/ORG で固定) を記入する。	同上	12 固定	▲	○
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するフォルダ名称 (MEET で固定) を記入する。	同上	4 固定	▲	○
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (MEET/ORG で固定) を記入する。	同上	8 固定	▲	○
	機材関係資料フォルダ名	機材関係資料を格納するフォルダ名 (MATERIAL で固定) を記入する。	同上	8 固定	▲	○
	機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名	機材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (MATERIAL/ORG で固定) を記入する。	同上	12 固定	▲	○
	施工関係資料フォルダ名	施工関係資料を格納するフォルダ名称 (PROCESS で固定) を記入する。	同上	7 固定	▲	○
	施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名	施工関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (PROCESS/ORG で固定) を記入する。	同上	11 固定	▲	○
	検査関係資料フォルダ名	検査関係資料を格納するフォルダ名 (INSPECT で固定) を記入する。	同上	7 固定	▲	○
	検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名	検査関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (INSPECT/ORG で固定) を記入する。	同上	11 固定	▲	○
発生材関係資料フォルダ名	発生材関係資料のファイルを格納するフォルダ名称 (SALVAGE で固定) を記入する。	半角英数大文字	7 固定	▲	○	

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	発生材関係資料 オリジナルファイル フォルダ名	発生材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (SALVAGE/ORG で固定) を記入する。	同上	11 固定	▲	○
	その他資料フォルダ名	その他資料のファイルを格納するフォルダ名称 (OTHRs で固定) を記入する。	同上	5 固定	▲	○
	その他資料オリジナル ファイルフォルダ名	その他資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (OTHRs/ORG で固定) を記入する。	同上	9 固定	▲	○
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	バージョン情報	工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○
	メーカー名	工事管理ファイルを作成したソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○
	メーカー連絡先	工事管理ファイルを作成したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等の連絡先を記入する。	同上	127	▲	○
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	同上	64	▲	△
工事情報	工事番号	監督員が定める 17 文字を入力する。	半角数字	17 固定	□	◎
	工事名称	契約図書の仕事名称を、仕様書番号も含めて記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎
	工事分野	別表 CORINS コード表の「工事の分野」に従って記入する。	同上	16	□	◎
	工事業種	別表CORINSコード表の「工事の業種」に従って記入する。	同上	16	□	◎
	工種	別表CORINSコード表の「工種、工法・型式」の工種を記入する。(複数記入可)	同上	64	□	◎
	工法型式	別表CORINSコード表の「工種、工法・型式の工法・型式」を記入する。(複数記入可)	同上	64	□	◎
	契約金額	契約金額を円単位の数値で記入する。	半角数字	16	□	◎
	工期開始日	工期の開始年月日を CCYY-MM-DD 形式で記入する。月又は日が1桁の数の場合は、「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日)例)平成30年10月1日 → 2018-10-01	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	10 固定	□	◎
	工期終了日	工期の終了年月日を CCYY-MM-DD 形式で記入する。記載方法は工期開始日に倣う。	同上	10 固定	□	◎
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。 例「改修、RC-3 1153.00 m ³ 」	全角文字 半角英数字	127	□	◎
発注者情報	発注者コード	発注機関の発注者コードを記入する。	半角数字	8 固定	□	◎
	発注者名称	発注者の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎
受注者情報	受注者コード	受注者が定める受注者コードを記入する。	半角数字	127	□	◎
	受注者名称	受注者の正式名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
施設情報 ※1	施設識別コード	通常は0(ゼロ)とする。 発注者から指示が合った場合はそのコードを記入する。	半角数字	127	<input type="checkbox"/>	◎	
	施設名称	発注者より提示された施設名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎	
	施設基準点緯度	施設基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する	半角数字	9	<input type="checkbox"/>	◎	
	施設基準点経度	施設基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	同上	10	<input type="checkbox"/>	◎	
	建築物情報 ※2	建築物識別コード	通常は0(ゼロ)とする。 発注者から指示が合った場合はそのコードを記入する。	同上	127	<input type="checkbox"/>	◎
		建築物名称	発注者より提示された建築物の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎
		所在地	建築物の所在地を記入する。	同上	127	<input type="checkbox"/>	◎
		建築物基準点緯度	建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	半角数字	9	<input type="checkbox"/>	△
建築物基準点経度		建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	同上	10	<input type="checkbox"/>	△	
予備	特記事項がある場合に記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は2文字で全角文字1文字に相当する。表に示している文字以内で記入する。

- 【記入者】 ：電子媒体作成者が記入する項目
：電子媒体作成ソフトウェア等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目

※ 1 工事対象施設の数だけ繰り返し記入する。

※ 2 1の工事対象施設毎に、工事対象建築物の数だけ繰り返し記入する。

【解説】

(1) 基礎事項

- ・ 工事管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目であり、工事管理ファイル（INDEX_C.XML）は工事管理項目の電子データファイルである。
- ・ 工事管理項目のデータ表現の定義は、「9-2 使用文字」に従う。
- ・ 付属資料1に管理ファイルのDTD、付属資料2に管理ファイルのXML記入例を示す。
- ・ 「ICON」フォルダは当面の間、工事管理項目の基礎情報には記入しない。DTDの要素としても定義しない。
- ・ 「BORING」フォルダは当面の間、工事管理項目の基礎情報には記入しない。DTDの要素としても定義しない。

- (2) 「メディア種別」
- ・ 電子媒体の種別がCD-Rの場合は「CD-R」、DVD-Rの場合は「DVD-R」、BD-Rの場合は「BD-R」と記入する。
- (3) 「メディアフォーマット」
- ・ 電子媒体の種別がCD-Rで、論理フォーマットがJolietとした場合は、「JOLIET」、UDF (UDF Bridge) とした場合は、「UDF」と記入する。電子媒体の種別がDVD-Rで、論理フォーマットをUDF (UDF Bridge) とした場合は、「UDF」と記入する。電子媒体の種別がBD-Rで、論理フォーマットをUDF2.6 とした場合は、「UDF2.6」と記入する。
- (4) 「工種」
- ・ 複数の工種を記入する場合は、「,」（半角カンマ）で区切り記入する。
- (5) 「工法型式」
- ・ 複数の工法・型式を記入する場合は、「,」（半角カンマ）で区切り記入する。
- (6) 「契約金額」
- ・ 数字を記入する場合は、「,」（半角カンマ）は記入しない。
- (7) 「工事番号」
- ・ 工事番号は、発注者からの指示による。
- (8) 「工事名称」
- ・ 工事名称は、工事件名を仕様書番号も含めて記入する。
- (9) 「請負者名」
- ・ 請負者名は、岐阜県入札参加資格者名簿に記載されている、正式名称を記入する。
- (10) 「請負者コード」
- ・ 請負者コードは、岐阜県入札参加資格者名簿における、11桁の入札参加資格者番号を記入する。
- (11) 「施設識別コード」、「建築物識別コード」
- ・ 通常は0（ゼロ）とするが、発注者から指示が合った場合はそのコードを記入する。
- (12) 「施設情報」、「建築物情報」
- ・ 複数施設を併せて発注した場合（いわゆる「〇〇外〇件工事」）の記載方法は、「8-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」による。

(13) 「施設基準点位置情報」、「建築物基準点位置情報」

- ・ 他の地理情報と連携して活用するための記入が必須な管理項目である。
- ・ 同一の施設、建築物に対して複数の基準点位置情報が付与されることを避けるため、原則的には0（ゼロ）とするが、請負者は発注者に対して工事対象施設、建築物に既に基準点位置情報が付与されているか確認を行い、既に付与されている場合は発注者から提示された基準点位置情報を記入する。
- ・ 新たに基準点位置情報を付与する場合は、以下の条件を満たす基準点を設定する。
 - ・ 施設基準点は、施設の敷地範囲内の点であること
 - ・ 建築物基準点は、建築物を地面に投影した場合の範囲内の点であること

4-2 図面管理項目

電子媒体の完成図フォルダ「DRAWINGF」に格納する図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）に記入する図面管理項目は、次に示すとおりである。

表 4-2 図面管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	図面管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○	
	バージョン情報	図面管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○	
	メーカー名	図面管理ファイルを作成したソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○	
	メーカー連絡先	図面管理ファイルを作成したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等の連絡先を記入する。	同上	127	▲	○	
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	同上	64	▲	△	
図面情報 ※1	図面名称	表題欄に記述する図面名称を記入する。	同上	64	□	◎	
	図面種類	図面の種類を記入する。（「仕様書」、「工事区分表」、「配置図」、「仕上表」、「平面図」、「立面図」、「断面図」、「機器表・器具表」、「系統図」、「詳細図」等）	全角文字	10	□	◎	
	階数	図面に記載されている階数を記入する。	半角英数字	127	□	◎	
	図面総数	図面の総数を記入する。	半角数字	4	□	◎	
	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	同上	4	□	◎	
	図面尺度	図面尺度を記入する。	半角英数字	10	□	◎	
	施設識別コード	通常は0(ゼロ)とする。 発注者から指示が合った場合はそのコードを記入する。	半角数字	127	□	◎	
	建築物識別コード	通常は0(ゼロ)とする。 発注者から指示が合った場合はそのコードを記入する。	同上	127	□	◎	
	工事種別	「意匠」、「構造」、「電気設備」、「機械設備」、「エレベーター設備」、「外構」の工事種別を記入する。	全角文字	64	□	◎	
	電子成果品の有無	電子納品の場合は「1」を、紙による納品として図面情報を入力した場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	□	◎	
	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数大文字	12	□	○	
	図面オリジナルファイル情報※2	図面オリジナルファイル名	図面オリジナルファイルのファイル名を、拡張子を含めて記入する。	同上	32	□	☆
		図面オリジナルファイル作成ソフトウェア名	図面オリジナルファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	☆
	その他	受注者説明文	受注者で特記すべき事項がある場合は記入する。	同上	127	□	△
予備		説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。（複数記入可）	同上	127	□	△	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフトウェア等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目
☆：オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する

※ 1 資料ファイル情報以下は、資料の数だけ繰り返し記入する。

※ 2 資料オリジナルファイル情報は一つの資料に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し記入する。

【解説】

(1) 基礎事項

- ・ 図面管理項目は、図面の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目であり、図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）は図面管理項目の電子データファイルである。
- ・ 図面管理項目のデータ表現の定義は、「9-2 使用文字」に従う。
- ・ 付属資料1 に管理ファイルのDTD、付属資料2 に管理ファイルのXML 記入例を示す。

(2) 「階数」

- ・ 図面に記載されている階数が特にない場合は「0」を記入する。
- ・ 地下1 階の場合は「B1F」、塔屋1 階の場合は「P1F」、屋上階の場合は「RF」と記入する。
- ・ 複数の階数が記載されている場合は、「,」（半角カンマ）で区切り記入する。
例 「1F,2F」

(3) 「図面尺度」

- ・ 複数の尺度が混在する場合は、代表尺度を記入する。
- ・ 尺度がない場合は「0」を記入する。
- ・ 尺度は、1/100 のように記入する。

(4) 「工事種別」

- ・ 複数の工事種別を記入する場合は、「,」（半角カンマ）で区切り記入する。

(5) 「電子成果品の有無」、「図面ファイル名」

- ・ 図面を電子納品する場合は、「電子成果品の有無」に「1」を記入し、「図面ファイル名」を必ず記入する。
- ・ 電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙による納品とした場合、紙によ

る納品とする図面の情報を図面管理ファイルに記入する場合は「電子成果品の有無」に「0」を記入する。

4-3 工事関係資料管理項目

電子媒体の工事関係資料フォルダ「MAINT」、「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「OTHRs」に格納する工事関係資料管理ファイル（MAINT.XML、PLAN.XML、SCHEDULE.XML、MEET.XML、MATERIAL.XML、PROCESS.XML、INSPECT.XML、SALVAGE.XML、OTHRs.XML）に記入する工事関係資料管理項目は、次に示すとおりである。

表 4-3 工事関係資料管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	図面管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○	
	バージョン情報	図面管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127	▲	○	
	メーカー名	図面管理ファイルを作成したソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	▲	○	
	メーカー連絡先	図面管理ファイルを作成したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等の連絡先を記入する。	同上	127	▲	○	
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	全角文字 半角英数字	64	▲	△	
資料情報 ※1	資料大分類	表4-4の資料大分類を記入する。	同上	64	□	◎	
	資料小分類	資料小分類を記入する。	同上	64	□	◎	
	資料名称	資料の表題を記入する。	同上	64	□	◎	
	資料作成日	資料作成の年月日をCCYY-MM-DD 方式で記入する。月又は日が1桁の場合は、「0」を付加して、必ず10桁で記入する。（CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）例）平成30年10月1日 → 2018-10-01	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	10 固定	□	◎	
	資料副題	資料名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎	
	資料ファイル名	資料ファイルのファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数大文字	12	□	◎	
	資料ファイル作成ソフトウェア名	資料ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎	
	ファイル情報※2	資料オリジナルファイル名	資料オリジナルファイルのファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数大文字	32	□	☆
		資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名	資料オリジナルファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する	全角文字 半角英数字	64	□	☆
	その他	受注者説明文	受注者で特記すべき事項がある場合は記入する。	同上	127	□	△
予備		説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。 (複数記入可)	同上	127	□	△	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。表に示している文字数以内で記入する。

- 【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目
 ▲：電子媒体作成ソフトウェア等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ◎：必須記入項目
 ○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
 △：任意記入項目
 ☆：オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する

※ 1 資料の数だけ繰り返し記入する。

※ 2 資料に対してオリジナルファイルが複数ある場合は繰り返し記入する。

表4-4 工事関係資料の資料大分類

フォルダの呼称	フォルダ名	資料大分類
保全に関する資料フォルダ	MAINT	保全に関する資料
施工計画書フォルダ	PLAN	施工計画書
工程表フォルダ	SCHEDULE	工程表
打合せ簿フォルダ	MEET	打合せ簿
機材関係資料フォルダ	MATERIAL	機材関係資料
施工関係資料フォルダ	PROCESS	施工関係資料
検査関係資料フォルダ	INSPECT	検査関係資料
発生材関係資料フォルダ	SALVAGE	発生材関係資料
その他資料フォルダ	OTHR	その他資料

【解説】

(1) 基礎事項

- ・ 工事関係資料管理項目は、工事関係資料の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目であり、各工事関係資料管理ファイルは工事関係資料管理項目の電子データファイルである。
- ・ 工事関係資料管理項目のデータ表現の定義は、「9-2 使用文字」に従う。
- ・ 付属資料1 に管理ファイルのDTD、付属資料2 に管理ファイルのXML 記入例を示す。

(2) 「資料小分類」

- ・ 資料小分類は、分類を設けた場合に記入する。

5 ファイル形式

電子成果品のファイル形式は、以下のとおりとする。

- ・ 工事管理ファイル、図面管理ファイル及び工事関係資料管理ファイルのファイル形式は XML 形式（XML1.0 に準拠）とする。
- ・ 図面ファイルのファイル形式は原則として SXF（P21）形式とする。ただし、文字情報が主となる仕様書等において、図面の作成に CAD を用いていない場合の保存形式は PDF 形式とする。
- ・ 工事関係資料ファイルのファイル形式は PDF 形式とする。
- ・ オリジナルファイルを作成するソフトウェア及びファイル形式は、受注者が決定することができる。ただし、可能な限り一般的なソフトウェアを利用するよう努める。

【解説】

- ・ 本要領「3 フォルダ構成」の解説に示したように、工事管理ファイル、図面管理ファイル及び工事関係資料管理ファイルのファイル形式は XML 形式とする。
- ・ 付属資料 3 に管理ファイルを XML 形式で作成する際の留意点を示す。

※SXF Scadec data eXchange Format

異なる CAD ソフト間での交換ができる共通のフォーマット形式（中間ファイルフォーマット：交換標準）である。「CAD データ交換標準開発コンソーシアム」において開発された。

この交換標準はコンソーシアムの英語名称である SCADEC(Standard for the CAD data Exchange Format in the Japanese Construction field)にちなみ、SXF 標準と呼ばれている。

SXFのファイル形式は、国際規格であるSTEP/AP202に準拠し、電子納品で採用されている、拡張子「.P21」のSTEP ファイル（P21 ファイルと呼ぶ。）と、国内でしか利用できないファイル形式である、拡張子「.SFC」のSFC ファイル（Scadec Feature Comment file の略、SFCファイルと呼ぶ。）がある。

P21ファイルは、国際規格であるISO10303/202に則ったファイル形式であり、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっている。本要領では、建築物のライフサイクルを考慮し、納品されたデータが長期的に閲覧・編集できるよう永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、CAD データファイルのフォーマットにSXF（P21）形式を採用した。

※PDF Portable Document Format

PDF は、プラットフォームに依存しないファイル形式で、文書を作成した環境と別環境（異なる機種、OS）との間における文書交換を可能にする。

6 ファイルの作成

6-1 図面ファイルの作成

- ・ 図面ファイルは、1 図面 1 ファイルとなるよう作成する。

6-2 工事関係資料ファイルの作成

用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

- ・ 印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。
- ・ 不要なフォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

【解説】

- ・ 用紙サイズをA4縦の標準設定で、ファイル変換する。
- ・ 資料ファイルを印刷した時に、文書、表、図、写真の中身が判読できるように解像度や圧縮を設定して、ファイル変換する。

6-3 工事関係資料ファイルの編集

- ・ パスワード、印刷・変更・再利用の許可等のセキュリティの設定を行わない。

7 ファイルの命名規則

電子成果品のファイル命名規則は、以下のとおりとする。

- ・ ファイル名の文字数は、半角（1 バイト文字）で8文字以内とする（拡張子と「.」を除く。）。
- ・ オリジナルファイルの拡張子はオリジナルファイルの作成に用いたソフトウェアが付与する拡張子とする（拡張子の文字数は23文字以内とする。）。
- ・ ファイル名・拡張子に使用する文字は、半角（1 バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。
- ・ 工事管理ファイルは「INDEX_C.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「IDXC_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 図面管理ファイルは「DRAWINGF.XML」とし、DTD は「DRAW_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 保全に関する資料管理ファイルは「MAINT.XML」とし、DTD は「MNT_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 工程表管理ファイルは「SCHEDULE.XML」とし、DTD は「SCHD_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 機材関係資料管理ファイルは「MATERIAL.XML」とし、DTD は「MTRL_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 施工関係資料管理ファイルは「PROCESS.XML」とし、DTD は「PROC_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 検査関係資料管理ファイルは「INSPECT.XML」とし、DTD は「INSP_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 発生材関係資料管理ファイルは「SALVAGE.XML」とし、DTD は「SLVG_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ その他資料管理ファイルは「OTHR.XML」とし、DTD は「OTHR_B04.DTD」（04 は版番号）とする。
- ・ 各管理ファイルの XSL は、「INDEX_C.XSL」、「DRAWINGF.XSL」、「MAINT.XSL」、「PLAN.XSL」、「SCHEDULE.XSL」、「MEET.XSL」、「MATERIAL.XSL」、「PROCESS.XSL」、「INSPECT.XSL」、「SALVAGE.XSL」、「OTHR.XSL」とする。
- ・ レイヤリストファイルは「LAYERL_S.PDF」とし、レイヤリストオリジナルファイルは「LAYERL_O.」 + 「オリジナルファイル作成に用いたソフトウェアが付与する拡張子」とする。

- ・ その他の受注者が作成する電子データのファイル名は、受注者が自由に命名してよい。

【解説】

- ・ その他の受注者が作成する電子データのファイル名については、文字数と使用する文字の制限の範囲内で、受注者が自由に命名してよい。

8 電子成果品

8-1 電子成果品

電子成果品の情報は、次の条件を満たさなければならない。

- ・ 情報の真正性が確保されていること。
- ・ 情報の見読性が確保されていること。
- ・ 情報の保存性が確保されていること。

【解説】

- ・ 電子成果品が第三者により書き換えられないようにするため、電子成果品には、真正性、見読性、保存性を確保する必要がある。
- ・ 真正性の確保とは、正当な人が作成した電子成果品の情報（文書、図面等）に対し、故意又は過失による虚偽記入、書き換え、消去及び混同が防止されているとともに、第三者から見て作成の責任の所在を明確にすることをいう。
- ・ 見読性の確保とは、電子成果品の情報（文書、図面等）を必要・目的に応じてパソコン等電子機器を用いて速やかに確認可能な状態を確保することをいう。
- ・ 保存性の確保とは、電子成果品の情報（文書、図面等）が、規定で定められた期間において真正性と見読性を満足した状態で保存することをいう。
- ・ 上記の3条件を満たす電子的な納品の手段として、CD-R（一度しか書き込みができないもの。）の使用による納品を原則とする。
- ・ CD-Rの論理フォーマットは、Joliet又はUDF（UDF Bridge）とし、Jolietを原則とする。
- ・ 原則として、1枚の電子媒体に情報を格納する。
- ・ 複数枚の電子媒体になる場合は、「8-3 電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。
- ・ 原則としてCD-R又はDVD-Rの使用とするが、データが大容量になる場合は、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮してBD-Rの使用も協議により可とする。
- ・ DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する。）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。
- ・ BD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する。）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF2.6とする。
- ・ 提出する成果物の部数については、次のとおりとする。

工事関係資料：正副2部

工事写真：正副2部

8-2 電子媒体の標記規則

- 電子媒体には、「工事番号」、「工事名称」、「作成年月」、「発注者名称」、「現場代理人氏名」、「受注者名称」、「枚数／総枚数」、「ウイルスチェックに関する情報」、「フォーマット形式」を明記する。

【解説】



図8-1 電子媒体への標記（例）

- 電子媒体には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないよう注意する。
- シールによっては温湿度の変化で伸縮し、電子媒体に損傷を与えることがあるため、シールは使用しない。
- 「ウイルスチェックに関する情報」は、使用した「ウイルス対策ソフト名」「ウイルス定義年月日」若しくは「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記する。ウイルス対策の詳細は「9-1 ウイルス対策」に示す。

【補足】

平成14年度以前は、CD-Rへのラベルシールの貼り付けを認めていたが、以下の理由により、今後はラベル面への直接印刷または手書きとする。

- 専用ラベル以外の貼り付けによるCD-Rの回転むらが生じ、データが読み取り不可能となった事例があった。
- 専用器具で貼り付けた専用ラベルであっても、貼り付け位置のずれやしわが認められ、今後データが読み取れない可能性が否めない。
- 長期保管時にラベルシールの剥がれにより、記録面の損傷やCD-Rドライブを破損する可能性がある。

8-3 電子媒体が複数枚に渡る場合の処置

- ・ 電子成果品は、原則 1 枚の電子媒体に格納する。
- ・ データが容量的に 1 枚の電子媒体に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_C.XML) を各電子媒体のルート直下に格納、基礎情報の「メディア番号」、施設情報及び建築物情報を除く管理項目は、全ての媒体に同じ内容を記入する。
- ・ 各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各電子媒体に格納する。
- ・ 電子媒体の表面の「枚数／総枚数」の記入は、電子媒体に格納した工事管理ファイルの基礎情報に整合させる。
- ・ 工事管理ファイルの施設情報及び建築物情報は、関係する工事関係資料が当該電子媒体に格納してある施設についてのみ記入する。
- ・ 工事管理ファイル以外の管理ファイル (工事関係資料管理ファイル、図面管理ファイル) は、当該媒体に格納した工事関係資料、図面についてのみ作成する。

【解説】

- ・ 施設情報及び建築物情報を除く管理項目は、全ての電子媒体に同じ内容を記入する。
- ・ なお、設計図書の記述により同じ内容の電子成果品を複数部 (複数セット) 提出する場合でも、「総枚数」は全体枚数の合計ではなく、1部に係る枚数をいう。例えば、正副1部ずつ合計 2 部を提出することになっている場合において、1枚の電子媒体にデータを格納した場合、電子媒体の表面にはいずれも「1 / 1」と明記する。
- ・ ラベル面 (図8-1) の「枚数／総枚数」の記入について、「枚数」は当該メディアに格納された「工事管理ファイル」の「基礎情報」の「メディア番号」、「総枚数」は同「メディア総枚数」を記入する。電子媒体 1 枚に収まる場合は「1 / 1」、N枚に渡る場合は「○ / N」のように記入する。
- ・ 複数施設を併せて発注した場合 (いわゆる「○○外○件工事」) は、原則として施設別に媒体を分けて作成する。

9 その他留意事項

9-1 ウイルス対策

受注者は、電子成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。

- ・ ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用する。
- ・ 最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。
- ・ 電子媒体の表面には、「使用したウイルス対策ソフト名」、「ウイルス（パターンファイル）定義年月日又はパターンファイル名」、「チェック年月日（西暦表示）」を明記する。

9-2 使用文字

- ・ 本規定は、管理ファイル（XML 文書）を対象とする。
- ・ 使用できる半角文字は、JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字のみとする。
- ・ 使用できる全角文字は、JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字のみとする。

【解説】

(1) 管理ファイルのデータ表現形式

使用文字の一般原則は上記のとおりであり、管理ファイルでの文字の表現方法は、一般原則に従っている。以下に管理ファイルでの文字の表現方法を解説する。

1) 全角文字

管理ファイルのデータ表現形式に示す「全角文字」とは、JIS X 0208で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字をいう。すなわち、全角文字には、漢字、数字、ラテン文字(a～z、A～Z)、ギリシャ文字、記号などがあるが、このうち全角の数字、ラテン文字は使用できない。全角文字を使用する項目では、必ず半角英数字も合わせて使用できるので、「令和〇〇年」といったデータでは“〇〇”を半角文字とする。

2) 半角英数字

同じく「半角英数字」とは、JIS X 0201で規定されている文字から片仮名用図形文字（半角カタカナ、日本語文で使用する半角の記号（句点（。））、カギ括弧（「）、（））、読点（、）、中点（・）、濁点（ゝ）、半濁点（゜））を除いた文字をいう。

3) 半角英数大文字

同じく「半角英数大文字」とは、「半角英数字」からラテン小文字(a～z)を除いた文字をいう。半角英数大文字を使用する項目は、フォルダ名やファイル名といった命名規則が決められている場合であるので、命名規則に従ってデータを入力する。

4) 半角数字

同じく「半角数字」とは、JIS X 0201で規定されている文字のうちの数字（0～9）及び小数点（.）をいう。

(2) 留意事項

機種依存文字（例えば、丸囲い数字、ローマ数字、(株)、No、kg、m²、地名や人名等の表現で特殊漢字等）、利用者が独自に作成した外字等は、他の端末では表示できない場合もあるので使用しない。また、数字やラテン文字も全角、半角を混在して使用すると検索する上で問題となるため、数字やラテン文字は半角文字で統一する。

ただし、管理項目のうち、受注者名称、施設名称、所在地等において、契約図書に機種依存文字が使用されている場合の対応については協議による。

9-3 工事写真の取扱い

工事写真の取扱いについては、以下の通りとする。

- (a) 工事写真は、他の工事関係資料とは別の電子媒体に格納して提出する。
- (b) 工事関係資料（工事写真を除く）について作成する工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の「メディア番号」及び「メディア総枚数」管理項目を記入する際は、工事写真を格納した電子媒体の枚数は含めない。
- (c) 工事写真については、本要領のうち、以下の項目のみを適用する。
 - ・ 8-1 電子成果品（注1）
 - ・ 8-2 電子媒体に貼るラベルについて（注2）
 - ・ 9-1 ウィルス対策
 - ・ 9-2 使用文字
 - ・ 9-3 工事写真の取扱い

（注1）「8-3 媒体が複数枚に渡る場合の処置」は適用しない。
（注2）工事名の後に「（工事写真）」と記入する。
- (d) ファイル名に使用する文字は、半角英数字及び全角文字とする。ファイル名の文字数は、全角文字で64文字以内（拡張子を含む）とする。
- (e) その他の事項については、「工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）平成30年版」、「工事写真撮影ガイドブック（電気設備工事編）平成30年版」、「工事写真撮影ガイドブック（機械設備工事編）平成30年版」による。

【解説】

- (1) 工事写真については、現行の「工事写真撮影ガイドブック」が、本要領のフォルダ構成やデータ管理の考え方と異なるため、他の工事関係資料とは別の取扱いをする。
- (2) 工事写真は他の工事関係資料とは別の電子媒体に格納し、お互いに独立して枚数を数える。

（例）工事関係資料が CD-R 1枚、工事写真がCD-R 2枚の場合

 - ・ 工事関係資料のCD-R
工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の「メディア番号」…「1」を記入
工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の「メディア総枚数」…「1」を記入
CD-R に貼るラベルの「何枚目／総枚数」…「1／1」と記載
 - ・ 工事写真の CD-R
CD-R に貼るラベルの「何枚目／総枚数」…「1／1」、「1／2」と記載
- (3) 工事写真については XML 形式の管理ファイルを作成しないので、複数枚に渡る場合は、電子媒体のラベルに貼った「何枚目／総枚数」で区別する。
- (4) 工事写真と他の工事関係資料の電子媒体を外観上判別するために、工事写真を格納した電子媒体に貼るラベルの「工事名称」の最後に「（工事写真）」と記載する。

- (5) その他の事項（画素数、ファイル形式、フォルダ構成例等）については、「工事写真撮影ガイドブック」による。本要領と「工事写真撮影ガイドブック」で規定が異なる場合は、本要領の規定を優先する。

付属資料 1 管理ファイルの DTD

1 工事管理ファイルの DTD

工事管理ファイル(INDEX_C.XML)のDTD(IDXC_B04.DTD)を以下に示す。

```
<!-- IDXC_B04.DTD / 2018/01 -->
<!ELEMENT constdata (基礎情報,ソフトウェア情報?,工事情報,発注者情報,受注者情報,施設情報+,予備*)>
  <!ATTLIST constdata DTD_version CDATA #FIXED "04">

<!-- 基礎情報 -->
<!ELEMENT 基礎情報 (メディア番号,メディア総枚数,メディア種別,メディアフォーマット,完成図フォルダ名?,完成図オリジナルファイルフォルダ名?,保全に関する資料フォルダ名?,保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名?,施工計画書フォルダ名?,施工計画書オリジナルファイルフォルダ名?,工程表フォルダ名?,工程表オリジナルファイルフォルダ名?,打合せ簿フォルダ名?,打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名?,機材関係資料フォルダ名?,機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名?,施工関係資料フォルダ名?,施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名?,検査関係資料フォルダ名?,検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名?,発生材関係資料フォルダ名?,発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名?,その他資料フォルダ名?,その他資料オリジナルファイルフォルダ名?)>
  <!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディア総枚数 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディア種別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディアフォーマット (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 完成図フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 完成図オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 保全に関する資料フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工計画書フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工程表フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工程表オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 打合せ簿フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 機材関係資料フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工関係資料フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 検査関係資料フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 発生材関係資料フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT その他資料フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他資料オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>

<!-- ソフトウェア情報 -->
<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカー名?,メーカー連絡先?,ソフトウェアメーカー用TAG?)>
  <!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT ソフトウェアメーカー用TAG (#PCDATA)>

<!-- 工事情報 -->
<!ELEMENT 工事情報 (工事番号,工事名称,工事分野,工事業種,工種,工法型式,契約金額,工期開始日,工期終了日,工事内容)>
  <!ELEMENT 工事番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工事名称 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工事分野 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工事業種 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工法型式 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 契約金額 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工期開始日 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工期終了日 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工事内容 (#PCDATA)>

<!-- 発注者情報 -->
<!ELEMENT 発注者情報 (発注者コード,発注者名称)>
  <!ELEMENT 発注者コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 発注者名称 (#PCDATA)>

<!-- 受注者情報 -->
<!ELEMENT 受注者情報 (受注者コード,受注者名称)>
  <!ELEMENT 受注者コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 受注者名称 (#PCDATA)>

<!-- 施設情報 -->
<!ELEMENT 施設情報 (施設識別コード,施設名称,施設基準点緯度,施設基準点経度,建築物情報+)>
  <!ELEMENT 施設識別コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施設名称 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施設基準点緯度 (#PCDATA)>
```

<!ELEMENT 施設基準点経度 (#PCDATA)>

<!-- 建築物情報 -->

<!ELEMENT 建築物情報 (建築物識別コード,建築物名称,所在地,建築物基準点緯度?,建築物基準点経度?)>

<!ELEMENT 建築物識別コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 建築物名称 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 所在地 (#PCDATA)>

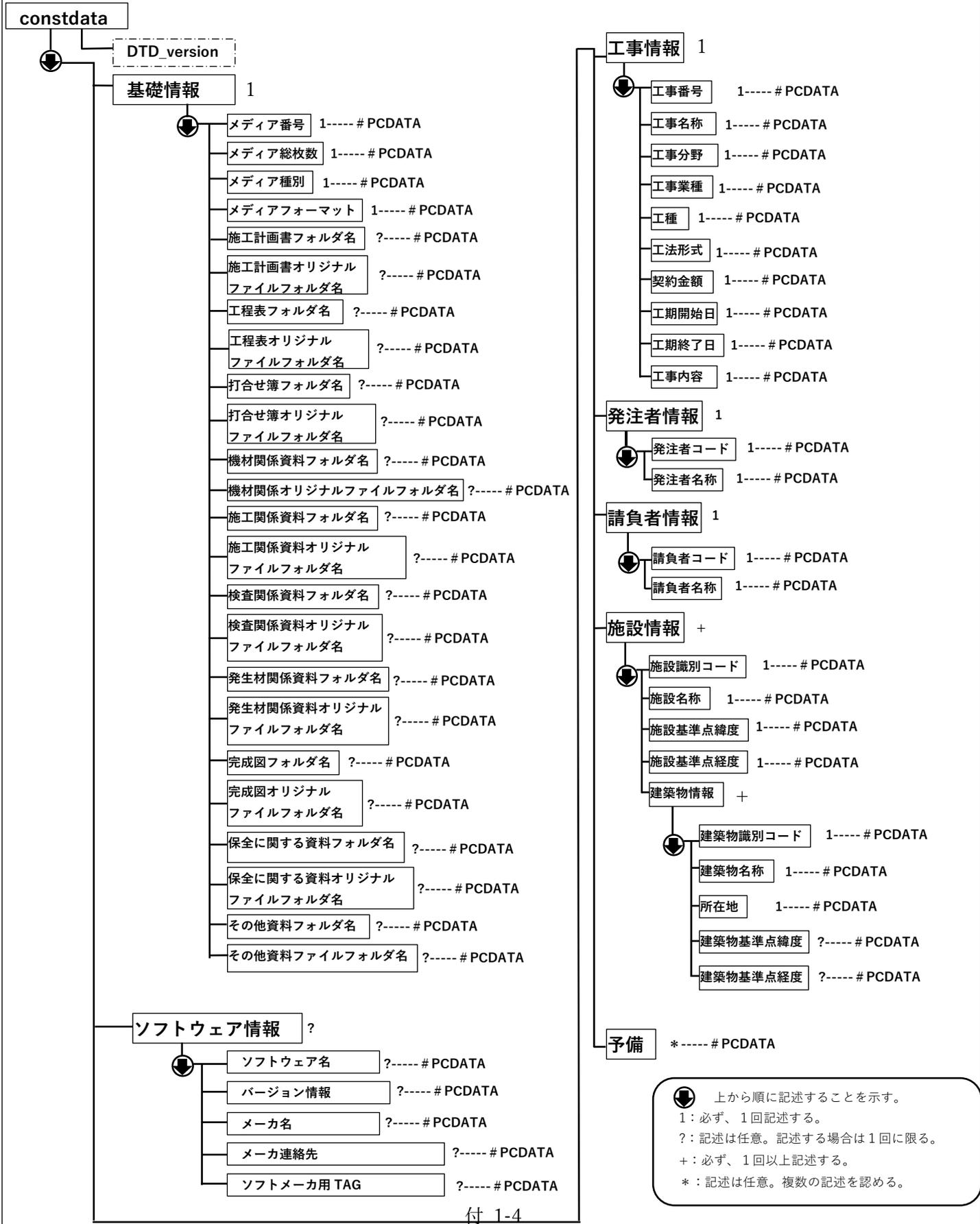
<!ELEMENT 建築物基準点緯度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 建築物基準点経度 (#PCDATA)>

<!-- 予備 -->

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

IDXC_B04.DTD の構造図



上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

2 図面管理ファイルの DTD

図面管理ファイル(DRAWINGF.XML)のDTD(DRAW_B04.DTD)を以下に示す。

```
<!-- DRAW_B04.DTD / 2018/01 -->
<!ELEMENT drawingdata(ソフトウェア情報?,/図面情報+)>
  <!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED"04">

<!-- ソフトウェア情報 -->
<!ELEMENT ソフトウェア情報(ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカー名?,メーカー連絡先?,ソフトウェアメーカー用TAG?)>
  <!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT ソフトウェアメーカー用TAG (#PCDATA)>

<!-- 図面情報 -->
<!ELEMENT 図面情報(図面名称,図面種類,階数,図面総数,図面番号,図面尺度,施設識別コード,建築物識別コード,工事種別,電子成果品の有無,図面ファイル名?,図面オリジナルファイル情報*,その他?)>
  <!ELEMENT 図面名称 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面種類 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 階数 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面総数 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面尺度 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施設識別コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 建築物識別コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工事種別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 電子成果品の有無 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>

<!-- 図面オリジナルファイル情報 -->
<!ELEMENT 図面オリジナルファイル情報(図面オリジナルファイル名,図面オリジナルファイル作成ソフトウェア名)>
  <!ELEMENT 図面オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面オリジナルファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- その他 -->
<!ELEMENT その他(受注者説明文?,予備*)>
  <!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```

DRAW_B04.DTD の構造図

Drawingdata

DTD_version

ソフトウェア情報 1

- ソフトウェア名 1-----#PCDATA
- バージョン情報 1-----#PCDATA
- メーカー名 1-----#PCDATA
- メーカー連絡先 1-----#PCDATA
- ソフトメーカー用 TAG 1-----#PCDATA

図面情報

- 図面名称 1-----#PCDATA
- 図面種類 1-----#PCDATA
- 階数 1-----#PCDATA
- 図面総数 1-----#PCDATA
- 図面番号 1-----#PCDATA
- 図面尺度 1-----#PCDATA
- 施設識別コード 1-----#PCDATA
- 建築物識別コード 1-----#PCDATA
- 工事種別 1-----#PCDATA
- 電子成果品も有無 1-----#PCDATA
- 図面ファイル名 ?-----#PCDATA
- 図面オリジナルファイル情報 *
- 図面オリジナルファイル名 1-----#PCDATA
 - 図面オリジナルファイル作成ソフトウェア名 1-----#PCDATA
- その他 ?
- 受注者説明文 ?-----#PCDATA
 - 予備 *-----#PCDATA

- ⬇ : 上から順に記述することを示す。
- 1 : 必ず、1回記述する。
- ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
- + : 必ず、1回以上記述する。
- * : 記述は任意。複数の記述を認める。

3 工事関係資料管理ファイルの DTD

工事関係資料管理ファイルのDTD を以下に示す。

なお、保全に関する資料管理ファイル(MAINT.XML)のDTD(MNT_B04.DTD)における例を示しているが、その他の工事関係資料管理ファイルについては、下表にしたがって置き換える。

フォルダ名	管理ファイルの呼称	管理ファイル名	DTD ファイル名	ELEMENT 名
MAINT	保全に関する資料管理ファイル	MAINT.XML	MNT_B04.DTD	maintdata
PLAN	施工計画書管理ファイル	PLAN.XML	PLAN_B04.DTD	plandata
SCHEDULE	工程表管理ファイル	SCHEDULE.XML	SCHD_B04.DTD	scheduledata
MEET	打合せ簿管理ファイル	MEET.XML	MEET_B04.DTD	meetdata
MATERIAL	機材関係資料管理ファイル	MATERIAL.XML	MTRL_B04.DTD	materialdata
PROCESS	施工関係資料管理ファイル	PROCESS.XML	PROC_B04.DTD	processdata
INSPECT	検査関係資料管理ファイル	INSPECT.XML	INSP_B04.DTD	inspectdata
SALVAGE	発生材関係資料管理ファイル	SALVAGE.XML	SLVG_B04.DTD	salvagedata
OTHR	その他資料管理ファイル	OTHR.XML	OTHR_B04.DTD	othrsdata

```
<!-- MNT_B04.DTD / 2018/01 -->
```

```
<!ELEMENT maintdata (ソフトウェア情報?,資料情報+)>
  <!ATTLIST maintdata DTD_version CDATA #FIXED "04">
```

```
<!-- ソフトウェア情報 -->
```

```
<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカー名?,メーカー連絡先?,ソフトウェアメーカー用TAG?)>
  <!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT ソフトウェアメーカー用TAG (#PCDATA)>
```

```
<!-- 資料情報 -->
```

```
<!ELEMENT 資料情報 (資料大分類,資料小分類?,資料名称,資料作成日,資料副題?,資料ファイル名,資料ファイル作成ソフトウェア名,資料オリジナルファイル情報*,その他?)>
  <!ELEMENT 資料大分類 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料小分類 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料名称 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料作成日 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料副題 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料ファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 資料ファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
```

```
<!-- 資料オリジナルファイル情報 -->
```

```
<!ELEMENT 資料オリジナルファイル情報 (資料オリジナルファイル名,資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名)>
  <!ELEMENT 資料オリジナルファイル名 (#PCDATA)>
```

<!ELEMENT 資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- その他 -->

<!ELEMENT その他 (受注者説明文?,予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

MNT_B04.DTD の構造図

Maintdata

DTD_version

ソフトウェア情報 ?

- ソフトウェア名 ?-----# PCDATA
- バージョン情報 ?-----# PCDATA
- メーカー名 ?-----# PCDATA
- メーカー連絡先 ?-----# PCDATA
- ソフトメーカー用 TAG ?-----# PCDATA

資料情報 +

- 資料大分類 1-----# PCDATA
- 資料小分類 ?-----# PCDATA
- 資料名称 1-----# PCDATA
- 資料作成日 1-----# PCDATA
- 資料副題 ?-----# PCDATA
- 資料ファイル名 1-----# PCDATA
- 資料ファイル作成ソフトウェア名 1-----# PCDATA
- 資料オリジナルファイル情報 *
 - 資料オリジナルファイル名 1-----# PCDATA
 - 資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名 1-----# PCDATA
- その他 ?
 - 受注者説明文 ?-----# PCDATA
 - 予備 *-----# PCDATA

⬇ : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料2 管理ファイルのXML 記入例

1 工事管理ファイルのXML 記入例

工事管理ファイル(INDEX_C.XML)の記入例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "IDXC_B04.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="IDXC_B04.XSL"?>
<constdata DTD_version="04">
<基礎情報>
  <メディア番号>1</メディア番号>
  <メディア総枚数>2</メディア総枚数>
  <メディア種別>CD-R</メディア種別>
  <メディアフォーマット>JOLIET </メディアフォーマット>
  <完成図フォルダ名>DRAWINGF</完成図フォルダ名>
  <完成図オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGF/ORG</完成図オリジナルファイルフォルダ名>
  <保全に関する資料フォルダ名>MAINT</保全に関する資料フォルダ名>
  <保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>MAINT/ORG</保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>
  <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
  <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
  <工程表フォルダ名>SCHEDULE</工程表フォルダ名>
  <工程表オリジナルファイルフォルダ名>SCHEDULE/ORG</工程表オリジナルファイルフォルダ名>
  <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
  <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
  <機材関係資料フォルダ名>MATERIAL</機材関係資料フォルダ名>
  <機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>MATERIAL/ORG</機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
  <施工関係資料フォルダ名>PROCESS</施工関係資料フォルダ名>
  <施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>PROCESS/ORG</施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
  <検査関係資料フォルダ名>INSPECT</検査関係資料フォルダ名>
  <検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>INSPECT/ORG</検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
  <発生材関係資料フォルダ名>SALVAGE</発生材関係資料フォルダ名>
  <発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>SALVAGE/ORG</発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
  <その他資料フォルダ名>OTHR</その他資料フォルダ名>
  <その他資料オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG</その他資料オリジナルファイルフォルダ名>
</基礎情報>
<ソフトウェア情報>
  <ソフトウェア名>電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>
  <バージョン情報>4.0</バージョン情報>
  <メーカー名>国土交通省大臣官房官庁営繕部</メーカー名>
  <メーカー連絡先>東京都千代田区霞が関2-1-2</メーカー連絡先>
  <ソフトウェアメーカー用TAG></ソフトウェアメーカー用TAG >
```


2 図面管理ファイルの XML 記入例

図面管理ファイル(DRAWINGF.XML)の記入例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW_B04.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="DRAW_B04.XSL"?>
<drawingdata DTD_version="04">
<ソフトウェア情報>
  <ソフトウェア名>電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>
  <バージョン情報>4.0</バージョン情報>
  <メーカー名>国土交通省大臣官房官庁営繕部</メーカー名>
  <メーカー連絡先>東京都千代田区霞が関2-1-2</メーカー連絡先>
  <ソフトウェアメーカー用TAG></ソフトウェアメーカー用TAG >
</ソフトウェア情報>
<図面情報>
  <図面名称>〇〇〇〇1 階平面図</図面名称>
  <図面種類>平面図</図面種類>
  <階数>1F</階数>
  <図面総数>60</図面総数>
  <図面番号>8</図面番号>
  <図面尺度>1/100</図面尺度>
  <施設識別コード>12345678</施設識別コード>
  <建築物識別コード>12345678001</建築物識別コード>
  <工事種別>意匠</工事種別>
  <電子成果品の有無>1</電子成果品の有無>
  <図面ファイル名>DRAW008.P21</図面ファイル名>
  <図面オリジナルファイル情報>
    <図面オリジナルファイル名>DR008_01.XXXX</図面オリジナルファイル名>
    <図面オリジナルファイル作成ソフトウェア名>〇〇〇〇〇 1.0</図面オリジナルファイル
    作成ソフトウェア名>
  </図面オリジナルファイル情報>
  <その他>
    <受注者説明文></受注者説明文>
    <予備></予備>
  </その他>
</図面情報>
</drawingdata>
```

3 工事関係資料管理ファイルのXML 記入例

工事関係資料管理ファイルの記入例を、保全に関する資料管理ファイル(MAINT.XML)を例にして以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE maintdata SYSTEM "MNT_B04.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="MNT_B04.XSL"?>
<maintdata DTD_version="04">
<ソフトウェア情報>
  <ソフトウェア名>電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>
  <バージョン情報>4.0</バージョン情報>
  <メーカー名>国土交通省大臣官房官庁営繕部</メーカー名>
  <メーカー連絡先>東京都千代田区霞が関2-1-2</メーカー連絡先>
  <ソフトウェアメーカー用TAG></ソフトウェアメーカー用TAG >
</ソフトウェア情報>
<資料情報>
  <資料大分類>保全に関する資料</資料大分類>
  <資料小分類></資料小分類>
  <資料名称>建築物の利用に関する説明書</資料名称>
  <資料作成日>2020-03-15</資料作成日>
  <資料副題></資料副題>
  <資料ファイル名>MAINT001.PDF</資料ファイル名>
  <資料ファイル作成ソフトウェア名>Adobe_Acrobat_Standard_DC</資料ファイル作成ソフトウェア名>
  <資料オリジナルファイル情報>
    <資料オリジナルファイル名>MN001_01.DOCX</資料オリジナルファイル名>
    <資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名>Microsoft_Word_2013</資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名>
  </資料オリジナルファイル情報>
</資料情報>
</maintdata>
```

付属資料3 XML 文書作成における留意点

XML 文書の作成にあたっての留意点を以下に示す。

- ・ XML 文書における文字セットは、「9-2 使用文字」によるものとする。
- ・ XML 文書の文字符号化方式は、XML 文書の標準符号化方式であるUnicode 形式のUTF-16、又はUTF-8 を基本とすべきであるが、コンピュータシステムの現状を鑑み、Shift_JIS とする。
- ・ 提出するXML 文書には、DTDを埋め込む方式をとらず、外部ファイル参照方式を採用する。
- ・ XML の予約文字(JIS X 0201(ラテン文字用図形文字)の不等号(より小)(<)、不等号(より大)(>)、アンパサンド(&)、アポストロフィー(')、引用符("))については、実体参照を用いることで使用することができる。以下に実体参照を示す。

表付 3-1 実体参照

記号	実体参照
”	"
&	&
'	'
<	<
>	>

- ・ XML文書の作成は、「JIS X 4159:2005 拡張可能なマーク付け言語(XML)1.0」を参照すること。